

平泉文化セミナー第 77 回例会の開催案内

岩手大学平泉文化研究センターでは、東アジアにおける総合的「平泉学」の構築を図るための一環として、平泉文化セミナーや講演会等を定期的に開催しております。

今回は、平泉文化セミナー第 77 回例会を下記により開催しますので、ご都合のつく方はご参加ください。参加費は無料です。

演題

平泉における浄土空間の演出

～無量光院跡と舞台遺構～

平泉文化遺産センター館長補佐

島原 弘征 氏

要 旨：

無量光院跡は奥州藤原氏三代秀衡が宇治の平等院鳳凰堂をモデルに造営した浄土庭園を有する寺院の跡である。2011 年の発掘調査で、阿弥陀堂のある中島東端から舞台遺構が確認された。

『当麻曼荼羅』には、阿弥陀三尊が坐す島の正面に舞台状の「せり出し」があり、無量光院跡の舞台遺構は、「せり出し」を表現したものとする。本セミナーでは、前述の舞台遺構を始めとする無量光院跡の庭園遺構を紹介しながら、浄土空間の再現・演出について考えてみたい。

令和 6 年 10 月 12 日（土） 13：30～15：00

岩手大学教育学部 1 号館 2 階 E21 講義室

※会場参加のかたは、事前の申し込みは不要です。

※Zoom 参加を希望されるかたは、10 月 4 日（金）までに下記連絡先までメールにてお申し込みください。（ただし、視聴のみとなります。）

- ・会場参加者はマスクをご着用されることをお勧めします。
- ・体温が 37.5 度以上の場合は入場をお断りする場合があります。

【連絡先】

〒020-8550

岩手大学平泉文化研究センター事務局

盛岡市上田三丁目 18-33

Fax 019-621-6529

E-mail yoshisat@iwate-u.ac.jp